

Rhythmix-Powers ライヴ出演者のコメント

今回のコンサートも多くの方にご来場いただき、誠にありがとうございました。2011年にスタートしましたこのコンサートも今回で14回目を迎えることになりました。今日までずっとご支援くださった皆様に心からお礼申し上げます。

Rhythmix-Powers は打楽器専攻の学生が中心となり、開催されるコンサートで大学で学んだことを実践する一つ場です。機材搬入、設置、音響調整、照明等をすべて学生が考え行います。コンサート開催への準備、また演奏を通して学習できることは多くあり、また自分の表現したい音楽を見つけたり、今の自分の演奏レベルの再確認の場でもあります。

今回は会場を大学に移し、プログラムのにもバリエーションに豊み、1年生の参加も多数ありました。回を重ねる度の学生の演奏レベルのアップに驚きます。次回の開催(12月)に向けて、また学生とともに日々努力して参ります。



Rhythmix-Powers 代表 折田 吉弘



今回は私がリーダーを務めさせていただいたのですが、大変満足のいくリズムックスでした！6回目の出演でしたが歌モノ、ギターなども今年が一番豪華でしたので、本当に楽しいリズムックスになったかと思います。初めて司会を務めてくれた夜船さん、たくさん動いてくれた1年生はわからないことだらけだったと思いますが、先輩たちのサポートもしっかりしていたので、全体的に流れがスムーズでとても良かったと思います！また、12月にありますが、学生として最後のリズムックス出演になるので、盛大に盛り上げたいと思います。

岡崎 美美(4年/広島修道大学附属鈴峯女子高等学校出身)

今回2回目の出演なのですが、主科(ユーフォニアム)でも副科(ピアノ、声楽)でもないヘヴィメタルのヴォーカルを担当することになり、前回の主科の楽器での出演の時とはまた違ったものを感じ、学ぶことができました。普段の主科の楽器の演奏では、大抵の場合楽譜を見ながらの演奏ですが、今回は歌での出演で、楽譜はおろか歌詞カードもないので、観客一人ひとりに目を向けられ、場の空気を感じ取ることができました。これは自分の中で、貴重な経験になったと思います。例年のリズムックスの雰囲気とはかけ離れたバンドだと、バンドのメンバーも含め、皆が感じたと思います。リズムックス史上初のヘヴィメタルバンドということで、バンドのメンバーは変に緊張していましたが、その緊張にも負けず、皆が精一杯の演奏をできたのではないかと思います。



長尾 晋太郎(4年/山口県立防府西高等学校出身)



今回で 6 回目の出演となりました。今回はいつもと会場を変え大学内で行ったため大変なこともありました。ですが、その分勉強になる点もたくさんありました。運営や音響調整など、学生主体となって動くので 毎回すごく勉強になっています。次回からは 3 年生が主体となって動くということで、良い演奏会になるよう サポートできればと思っています。また、次回が学生最後のリズムックスになるので、最後にふさわしい演奏ができるよう 頑張ります。お越しくくださった方々 ありがとうございます。

和田 茜(4年/広島市立美鈴が丘高等学校出身)

今回のリズムックスで 3 回目の出演になります。私は大学に入ってから、フュージョンやボサノヴァなどのジャンルに触れました。それらのジャンルのリズム感に最初は全く慣れず、とても苦戦しましたが、一緒にチームを組んでいる友人たちとお互いに意見を出し合いながら日々勉強に励みました。まだまだ勉強不足ではありますが、今回のリズムックスでは今までの成果を充分に出せた本番でした。リズムックスは私にとって、とても大切な演奏会です。これからも出演していきたいと思います。リズムックスという演奏会を設けてくださった主催者である、折田吉弘先生に感謝します。

大熊 咲良(3年/香川県立坂出高等学校出身)



今回で3年目のリズムックスでした。1、2 年生の時は先輩を見て動いたりしていたのですが、今回からは後輩たちに指示する側となりました。また今回は音響(PA)をメインにやらせていただきました。ポピュラーの演奏会は音響の専門家に頼んだりするのですが、リズムックスは全て自分たちでやっています。僕自身、音響に関しては大学から始めて、先生や先輩方からたくさん教わりました。3年生になってからは音楽ビジネス論という授業があり、中野力先生に音響などをご指導いただきました。今回の演奏会を踏まえ、上級生として今まで以上に責任を強く持ち、先輩という立場なので後輩たちをうまく指導していけるように頑張っていきたいと思っています！

高見 康平(3年/広島市立舟入高等学校出身)



今回のリズムックスは、私自身初めての出演でした。私はポピュラーヴォーカル専攻なのですが、こういったアンサンブルコンサートにヴォーカルとして出演させていただくのは、これまでのリズムックスには中々珍しい光景のように思えたので、とても嬉しかったです。そして何より自分自身、経験、知識、演奏ともに良い経験となりました。このような素敵な機会をくださった打楽器専攻の先輩方や、折田先生にとっても感謝しています。こういった機会を大事にして日常の演奏にも活かし、これからも演奏者として日々精進していきたいと思っています。ありがとうございます。

正木 樹梨葵(3年/広島県立廿日市西高等学校出身)



私は、今回初めて司会をさせていただきました。これまでも先輩方が代々務められてきた司会を引き継ぐことに、誇りと少しのプレッシャーがありました。演奏の準備はもちろん、司会としての準備はとても大変でした。しかし準備していく中で、それぞれのグループの良さなどがわかっていき、それをお客様にしっかり伝えたいと思いました。演奏の面だけでなく、司会を務めさせていただき、多方面でとても学ぶことの多い演奏会でした。

夜船 友紀(3年／広島音楽高等学校出身)

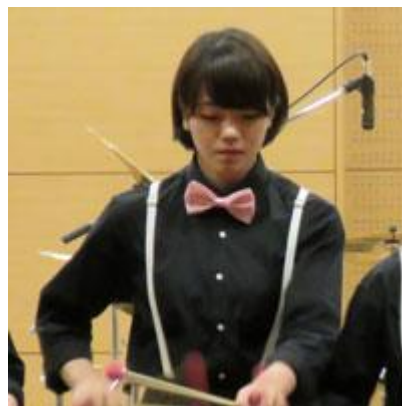


私は、今回初めてリズムクスに出演させていただきました。普段レッスンを受けているクラシック音楽とは違う難しさがあり、とても緊張しましたが、たくさんの方のアドバイスをいただきました。素敵な先輩方と一緒に演奏ができたことを嬉しく思います。このような機会をいただいたことへの感謝を忘れず、これからも練習に励み、今知らない新しいことをたくさん身に付けていけるといいなと思います。

増田 七穂(2年／広島県立呉宮原高等学校出身)

今回、リズムクスに初めて出演させていただきました。主科で打楽器を専攻している1年生4人でチームを組み、私はマリンバとヴィブラフォンでの参加となりました。日程を合わせて集まり、お互い意見を出し合いながら終始いい雰囲気練習できたのがとても良かったと思います。セッティング係のお仕事としては、初めてでわからないこともありましたが、先輩に教わりながら動くことができたと思います。次回のリズムクスをもっと良いものにできるよう、今回の経験を活かしていきたいです。

安部 柚希(1年／広島修道大学附属鈴峯女子高等学校出身)



高校の頃から憧れだったリズムクスに自分たちでチームを組んで出演することができました！1年生だけで組んで、まだ技術的に足りない面もたくさんありました。それを練習でお互いに高め合いながらすることができました。先生や先輩方の演奏を聴くと、技術力や曲の感じ方、楽器の音色が自分と全然違いました。たくさんの方の反省、次への目標が見え、とても良い経験になりました。やっぱり演奏することが大好きということが改めて感じる事ができました。このように演奏でき、たくさんの方の刺激を感じ良い経験ができたのも、準備からすべてまとめてくださった先輩方、裏で動いてくださった方々、応援しにきてくださった方々のおかげだと思います。

木村 菜都(1年／広島市立美鈴が丘高等学校出身)